

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
—	—	河野 訓	学長・教授	宗教学・仏教学	(1)漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2)20世紀中後半における中国仏教寺院の変貌の研究 (3)宗教都市伊勢における神仏分離と全国の神仏分離との比較研究 (4)神宮御厨の研究 (5)世界の諸宗教に関する研究
文学	研究科	新田 均	特別教授	神道史	近代日本の政教関係についての諸課題を明らかにする。
文学部	神道学科	板井 正斉	教授	宗教学、宗教民俗学、神道福祉論、GIS 研究	地域神社に関する基礎的研究 ①神社周辺人口の地理空間(GIS)分析 ②祭礼行事の継承状況の分析 ③神社を地域資源とした福祉・防災活動の事例分析 ④原田敏明毎文舎文庫を活用した分析
		加茂 正典	特命教授	神道史・日本文化史	前近代における国家と祭祀の史的研究 ① 朝廷祭祀と神宮祭祀の史的研究。 ② 吉田神社社家鈴鹿家資料の研究。
		中山 郁	教授	宗教学	①神道における行法の基礎的研究 ②海外戦没者慰霊の研究 ③EAによる授業支援の教育効果に関する研究
		橋本 雅之	特別教授	上代文学・神話学・日本文化論	(1)古風土記の受容史、おもに近世における『常陸国風土記』と水戸学の関りについて。 (2)澤瀉久孝の万葉学とその周辺、おもに萬葉集の近代写本について。
		松本 丘	教授	神道史・神道思想史	1. 垂加神道を中心とする江戸時代神道史の研究 2. 崎門における神道・儒学思想の研究
		田井 健治	助教	神道祭祀・神社祭式・有職故実	・神社祭式行事作法における現代的意義の考究 ・吉田神道における神道護摩の儀礼的位置づけの研究
	高野 裕基	助教	近現代神道史 宗教行政史	1. 国民道徳論における家族制度の研究 2. 梅田義彦の神道論に関する研究	
	国文学科	大島 信生	特別教授	上代国語国文学	1. 万葉集の訓詁注釈的研究 2. 日本書紀の研究
		上小倉 一志	教授	書道	・隷書から楷書への過渡期の文字変遷とその表現法に関する研究(継続中) ・三国から南北朝期の隷書・楷書の筆法の変化に関する研究 ・韓天寿『岡寺版集帖』に関する調査・研究(継続中) ・硯と墨色の研究(継続中)
		齋藤 平	教授	日本語学・社会言語学	① 地震津波記念碑の社会言語学的研究 ② 三重県方言の研究 ③ 『丹洞夜話』の研究
		田中 康二	教授	日本近世文学・国学	江戸時代中期に発祥した「国学」について、古代・中世にルーツを持つ「歌学」からの連続性と断絶という観点と、近代以降現代に及ぶ国文学研究、さらには古典教育への断続性という観点の二つの視座から、国学者の残した業績を見直す作業を行う。また、それらを通時的に貫通する「日本古典学」を構想することを目標とする。
		松下 道信	教授	中国宗教思想	・道教(北宋～元までの全真教・内丹道について) ・神道と中国思想、特に道教思想とのかかわりについて

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	国文学科	岡野 裕行	准教授	文学散歩, 読書会, ビブリオバトル, 書物文化, 文学館	①文学散歩の研究 ②読書会の研究 ③ビブリオバトルの研究
		木村 尚志	准教授	中世文学、和歌文学	『古今集』『仮名序』の中世における享受
		千邑 淳子	特命准教授	公共図書館と地域、マイクロライブラリー	①図書館の企画展示 ②公共図書館における地域との連携と地域活性化 ③マイクロライブラリーの可能性
		平石 岳	助教	日本近代文学	①昭和期における徳富蘆花文学の受容と再創造に関する研究 ②演劇文化と演劇表現史の研究
		吉井 祥	助教	文学	平安時代の実社会における和歌の機能の解明と、その史的展開から和歌史を叙述することが、研究課題である。特に、令和4年度から「宴歌を基軸とした平安期における社交詠の展開」(科学研究費「若手研究」の助成対象)を課題としている。
	国史学科	遠藤 慶太	教授	日本古代史	近年、古代の行政区域であるコホリ(評・郡)の実像を明らかにする研究が進展している。出土文字史料(木簡など)の活用や日中比較の観点から成果が出されており、これらの研究成果に学びながら、『日本書紀』『萬葉集』といった古典文献の内容を再検討し、古典読解の新たな視点を探求してゆきたい。
		岡野 友彦	教授	日本中世史	① 中世公家社会と公家領荘園に関する研究 ② 北畠親房と伊勢国司北畠氏に関する研究 ③ 中世の伊勢神宮と神道・神社に関する研究 ④ 源氏長者・徳川家康に関する研究 ⑤ 古文書の料紙に関する研究
		多田 寛道	教授	日本中世史	神宮と仏教の関係についての研究
		谷口 裕信	教授	日本近代史・地方行政史	①近現代日本における郡の地域的結合について ②近代における旧伊勢御師の活動について
		服部 直美	特命教授	教育学(教職論)	教職を志望している大学生の、教職に対する意識についての考察
		堀内 淳一	教授	東アジア古代外交史・コンテンツ文化史	(1)古代～中世における日本・朝鮮・中国を中心とした外交関係 (2)日本における魏晉南北朝史の展開 (3)日本における中国イメージ形成の展開について
		松浦 光修	教授	近世思想史 幕末思想史	「皇学」の成立過程
		谷戸 佑紀	准教授	日本近世史	①近世国家における伊勢神宮の位置づけに関する研究 ②由緒の形成と偽文書の作成に関する研究 ③近世社会の統治システムに関する研究
		長谷川 伶	准教授	日本近現代史 満洲経営 満蒙開拓団の戦後 非文字史料研究 権原神宮史	1 日本の満洲進出と国内向けプロパガンダの研究 2 満蒙開拓団引揚げ後の国内での生活再建について、三重県・奈良県における再開拓を行った天理教開拓団を事例として分析 3 旧華族家の生活史をオーラルヒストリーと文字史料を組み合わせ分析 4 古写真・絵葉書・音源など非文字史料の歴史学への活用 5 宗教団体による満蒙開拓について、一灯園を事例として分析 6 権原神宮の歴史について同神宮の史料を用いて研究 7 地域史料の発掘と教育普及・展示への活用

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	コミュニケーション学科	張 磊	教授	人工知能	生成 AI をプログラミング教育への導入
		豊住 誠	教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究
		芳賀 康朗	教授	心理学	ヒト特異性の認識に関する心理学的研究
		川村 一代	准教授	外国語教育	テーマ: 中学生の対話能力とその評価: 「面接型」テストと「ペア型」テストの比較 ① 中学生の対話能力の評価: 「面接型」テストと「対話型」テストの比較 ② 「面接型」テストと「ペア型」テストにおける中学生の対話能力と情意(国際的志向性・WTC・自己効力感)の関係 ③ 高校生の対話能力の評価: 「面接型」テストと「対話型」テストの比較
		栗野 理恵子	准教授	受容的音楽療法 フォーカシング	受容的音楽療法の研究動向に関する概観(研究1) 音楽療法におけるフォーカシング指向音楽聴取法の有効性の考察(研究2)
		高沢 佳司	准教授	心理学	(1)内的感覚への心理的距離の決定要因～想起容易性パラダイムおよび動機づけの観点から～ (2)フォーカシングの第5ステップの解釈レベルと創造性に関する研究 (3)強みや強みを伸ばそうとする心理教育がネガティブな効果をもたらすとき
		玉田 貴裕	准教授	英語学	英語史における使役移動構文の発達
		チェロ ディチェロ	准教授	異文化コミュニケーション	日本で日本語運能力制限の持っている人の情報アクセスと第二言語習得研究
		中山 真	准教授	心理学(社会心理学)	HSP傾向と学生生活における困りごととの関連
栗林 梓	助教	人文地理学	東京 23 区の居住地域構造における学生居住地の縮小プロセスの解明		
教育学部	教育学科	大杉 成喜	教授	特別支援教育・教育工学	・障害のある児童生徒の教材開発・実践研究 令和3年度～6年度科学研究補助金(研究代表:大杉成喜)(延長手続き済み)「視線入力を活用した重度身体障害児者の遠隔eSports参加による自己肯定感の向上」の最終年 ・小さい子ども・知的障害のある子どものプログラミング教育に関する研究 ・皇学館中学校未来理工部と連携した中学生のプログラミングに関する実践研究 ・三重県の地域の課題に応じた特別支援教育にかかる実践研究
		加藤 純一	教授	体育・保健体育科教育 法、武道思想史	○器械運動の教材開発について(継続) ○VTRを用いた模擬授業の省察(継続) ○韓国剣道の動向調査
		叶 俊文	教授	体育心理学	子どもの体育への動機づけについて 子どもキャンプの記憶
		駒田 聡子	教授	食育	1. 保育所・児童養護施設の食支援 2. 食物アレルギー児支援の課題について 3. 簡単に作れるレシピの提案

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	勢力 稔	特命教授	教育学、教科教育学、教師教育学	「教員の授業改善(ICT活用含)を目指した研究」 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指した、授業方法 (ICT活用・評価手法)の開発に関する研究
		中條 敦仁	教授	国語教育学 キャリア教育学 ICT教育	国語教育・キャリア教育の視点を持った国語教育の方法の可能性に関する研究 言語教育:生活絵本群の言語分析に関する研究 ICT教育:国語科教育法講義におけるICT利活用の育成に関する研究
		中松 豊	教授	応用昆虫学 理科教育学 生活科教育学 環境教育学	・寄生蜂を使った昆虫の生体防御機構の解明 ・保育園から高等学校理科の生物分野における昆虫を使った観察・実験教材の開発
		濱谷 義弘	特命教授	大域的解析学	関数差分方程式・関数微分方程式の大域的有界解の定性的研究
		村瀬 雅俊	特命教授	未来創成学基礎理論	数理教育における創造的発見学習方法の統合的探究と発展的展開 —異分野統合による創発原理の理論構築・実践展開・経過検証—
		吉田 直樹	教授	発達心理学・環境心理学 臨床心理学	教育・保育施設における心理相談の物理的環境整備
		渡邊 賢二	教授	教育心理学, 家族心理学	児童期から青年期の親子関係, 親子間葛藤, 子育て支援 小中学生と教師の支援
		渡邊 毅	教授	道德教育	道德教育の教育的効果に関する研究 道德教育による子供の学校不適応の予防と対処に関する研究 偉人関連文献の歴史的及び教育的意義に関する研究 教材開発
		市田 敏之	准教授	教育行政学	米国における初等中等教育段階の科学技術人材育成に関する研究 「ICTを活用した学習指導力」の育成に関する研究
		井上 兼一	准教授	教育史学	1930~40年代における学制改革の再検討 戦後三重県における教育委員会の施策と活動に関する基礎的研究 近代の社会事業における政府・皇室・宗教の役割に関する実証的研究
		上野 祐一	准教授	解析学、算数・数学教育学	【解析学】Painleve (パインルヴェ)系の良い量子化と τ (タウ)関数の量子化について 【算数・数学教育学】高大接続、中大接続の数学の在り方についての系統的な考察
		小川 真由子	准教授	小児保健、学校保健、子育て支援	①養護教諭の頭部外傷事例における救急処置の思考過程の分析 ②祖父母世代の子育て支援に関わる教育の構築 ③大学生のライフスキル教育を培うための教育方法の検討
		片山 靖富	准教授	応用健康科学	課題① 身体活動の増加ならびに運動の習慣化を促す研究(運動プログラムの開発) 課題② 大学生体力と学力との関係/大学体育授業の教育効果 課題③ スポーツの習い事をはじめたきっかけとその後の運動習慣・スポーツに対する価値観との関係 課題④ 中年肥満者への減量介入が20年後のフレイル予防にもたらす影響
佐藤 武尊	准教授	自然科学(柔道)	(1)国際柔道選手競技分析研究 (2)柔道選手における糖尿病に関する研究 (3)柔道における礼法に関する研究		

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	澤 友美	准教授	理科教育 昆虫生理学	・教員養成課程に在籍する大学生の教育技術向上を評価するポートフォリオの検討 ・理科教育法におけるICTを活用した初等理科授業のデザインの検討 ・附属図書館と連携した小学校理科教育における児童書の活用方法の検討Ⅱ ・高等学校生物基礎の食作用の実験における、昆虫培養細胞を用いた実験方法の検討
		高橋 摩衣子	准教授	音楽教育	●学校音楽教育/幼児音楽教育の現状および時代に即した教員/保育者養成に関する研究。 ●教員・保育者養成課程における学生ミュージカル創作実践。
		土谷 長子	准教授	幼児教育・保育学	乳幼児の発達とそれにふさわしい保育環境・指導のあり方
		野々垣 明子	准教授	アメリカ成人教育史、三重県社会教育史	①19世紀アメリカの成人教育運動(ライシーアム運動)における教師の相互向上を目的とした学習活動の実態を明らかにする。 ②三重県において昭和22年から30年にかけて上映された教育映画フィルムから、民主主義の普及に対する取り組みの実態を明らかにする。
		萩原 浩司	准教授	脱炭素社会を目指す小学校社会科におけるエネルギー環境教育	・脱炭素社会を目指すために小学校社会科歴史学習において求められるカリキュラム・学習内容・学習方法を明らかにする。特に、環境教育やESDとの違いを明確化し、歴史学習の特性を生かすことで研究を進める。
		山本 智子	准教授	障害児教育学(指導法)・教育カウンセリング(発達支援)	・特別支援学校における授業改善 ・障害のある幼児児童生徒の発達支援
		吉田 明弘	准教授	児童福祉施設等退所者にたいする就労支援	児童養護施設や少年院退所(院)者を雇用し、就労支援のみならず、生活支援を行っている事業所を研究対象に、その事業所において、採用された者がどのようなプロセスを経て仕事に定着しているのかを明らかにする。
		吉田 京子	特命准教授	幼児教育	乳幼児期における愛着形成とその後のコミュニケーション能力との関係について
現代日本社会学部	現代日本社会学科	鵜沼 憲晴	教授	社会福祉	社会福祉協議会の法人後見による権利擁護
		笠原 正嗣	教授	「交通空白地」における社会的弱者の移動支援	公共交通の衰退傾向が著しい地方都市には「交通空白地」が数多く存在する。そこに生活する社会的弱者への移動支援が特に地域経営の重要課題となっている。免許返納を半ば強制される超高齢者や、移動手段の保持が困難な身体障害者等が社会活動を行うためには公的移動支援が必要であり、「公共交通網の再構築」と「クルマの社会化」(自動運転)の両側面より、社会的方策を考える。
		岸川 政之	特命教授	SB(ソーシャルビジネス)について	地域の課題などをビジネスの手法で解決していくSBをテーマに、皇學館大学をメイン会場に開催される「全国高校生SB交流フェア」において、全国の高校生や関係団体の取組を研究し、地域課題の解決方法のヒントを探す。また、学んだSBの手法をどうすれば地域課題の解決に結び付けられるかについて伊勢志摩地域を舞台に考える。この取組は、社会臨床実習の受講生および有志(皇學館大学SB研究部会など)を中心に進めていく。
		関根 薫	教授	老年社会学	①社会福祉協議会における法人後見についての研究 ②サクセスフル・エイジングに関する基礎的研究
		千田 良仁	特命教授	農林水産業経済学、開発経済学、地域活性化論、地域イノベーション論	・農林水産業経済学、経営学視点からの実証的、計量経済学的研究 ・地域の活性化および地域イノベーションに関する実証的研究 ・地域食文化研究
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会における社会経済活動団体の現状と課題に関する研究

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
現代日本社会学部	現代日本社会学科	富永 健	教授	憲法学	①国体法の研究 国体と憲法との関係、特に戦後の憲法学における国体の取り扱いに関する研究 ②政教関係の研究 現行憲法および明治憲法下の政教関係問題の考察 ③憲法改正論の研究 現代における憲法改正論議、各種改正試案についての考察
		中野 一茂	教授	ミリタリーソーシャルワーク ソーシャルワーク 児童福祉	ミリタリーソーシャルワークのカリキュラム開発 児童家庭ソーシャルワークの教授方法の開発
		岩崎 正彌	准教授	日本の伝統文化の教育の再建	日本の伝統文化 ～ その探求と継承、未来への創造と応用～ 基礎:我が国の伝統文化の詳細と本質を学び、その精神的な根源を探求する。 応用:我が国の伝統文化の継承と発展のため、伝統文化教育の内容を構築する。 展開:我が国の伝統文化の未来への創造のため、具体的な方法論を開発し、実践する。
		瓜田 理子	准教授	民族音楽学	神楽秘曲の継承原理とレジリエンスについての基礎的研究
		榎本 悠孝	准教授	障害者福祉 精神保健福祉	精神障害者の地域移行・地域定着を阻害・促進する要因に関する研究
		大井 智香子	准教授	社会福祉、地域福祉	「地域の固有性にねざした社会資源開発に関する研究」本研究の目的は、生活者である住民に意識化されないまま現在の生活の基盤となっている生活文化を、活用可能な「文化資源」とする条件および要因が何かを明らかにすることにある。本研究は、社会資源の活用やニーズ充足の組み合わせに焦点を絞るというよりも、社会資源の開発・創設・制度化に関心を置いている点に特徴がある。
		藤井 恭子	准教授	地域社会学、教育社会学	若者による地域活動とソーシャルビジネスに関する研究
		村上 政俊	准教授	国際政治、米中関係、日本の外交安全保障、インド太平洋	本年度は日本政府にとって、令和4年12月に改定された「国家安全保障戦略」に基づきつつ、防衛力強化を具体化させていく重要な時期となろう。中国の力による一方的な現状変更の試み、ロシアのウクライナ侵略、北朝鮮の拉致核ミサイル問題によって劇的に悪化している安全保障環境について、考察を深化させ、政策的含意のある研究を進めたい。
教育開発センター	中村 哲夫	特命教授	体育学	1. 1930-40年代IOCにおけるオリンピック運動の諸相:特にアメリカにおけるベルリン大会ボイコット論争へのIOCの対応を中心に 2. 明治末期～大正期にかけての愛知一中における運動部活動の検討	
	池山 敦	准教授	コミュニティ政策	(1)地方公務員法改正後の行政協力制度における官民のパワーバランスについての研究 (2)地域課題の「見える化」に関する無人航空機の利活用 (3)災害復興過程における地縁組織の姿	
	濱畑 静香	准教授	日本語学・日本語教育学	・日本語学習者の口頭運用能力向上に関する研究 ・EPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師候補者の日本語運用に関する研究	
研究開発推進センター	荊木 美行	教授	日本古代史	記紀・風土記・『新撰姓氏録』を中心とした日本古代史の研究。	
	浦野 綾子	特命准教授	近世文学	長野義言および国学者の研究	
	佐野 真人	准教授	日本古代史・神道史	①日本古代における朝廷祭祀・儀礼の研究 ②『延暦儀式帳』の注釈的研究	

令和6年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
研究 開発 推進 センター		塩川 哲朗	准教授	皇室祭祀・神宮祭祀、古 代・中世神道史	古代の宮中で齋行されてきた大嘗祭・新嘗祭をはじめとする天皇祭祀と、朝廷が行っていた国家祭祀の構造と変遷を明らかにする。古代から続く伊勢神宮の祭祀の構造と変遷も明らかにすることで、宮中と神宮の関係性を考察する。朝廷と伊勢の関係性を軸としながら、古代・中世の神祇信仰の歴史を研究する。
		小林 郁	助教	日本中世史・神道史	中近世における神宮御師の研究